

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 4月5日(日) 13:00~14:30

5月3日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ

費用 無料

問合せ 0422-31-9033

森のふくろう

(剪定などの樹木の管理)

主催 森のふくろう(緑のボランティア講座終了生の会)

座終了生の会)

日時 4月11日(土) 10:00~15:00

4月25日(土) 10:00~15:00

場所 北野中央公園 北野3-6-45

対象 会員及び趣旨に賛同する人

問合せ 大徳

daitokufamily@h4.dion.ne.jp

野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 4月11日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ 無料

問合せ 0422-31-9033

第46回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ 「動き出した虫たち」

日時 4月19日(日) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

費用 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

春の植物観察会

主催 三鷹市

日時 4月22日(水)

場所 町田市小野路方面(予定)

定員 30名(先着順) 無料

申込・問合せ 緑と公園課 内線2834

市民大学「環境とエネルギー」

主催 三鷹市社会教育会館

日時 5月16日~3月6日

(毎週土曜日 10:00~12:00) 全30回

場所 三鷹市社会教育会館 料金 無料

対象 16歳以上の三鷹市民

(在学・在勤含む)

定員 25人(多数の場合は抽選)

申込 4月13日(月)~17日(金)

問合せ 社会教育会館 内線3350

編集後記

桜の季節になりました。いろいろな花が咲き、生き物がまた活発に活動を始めています。みたか環境活動推進会議も、新委員により、2期目の活動が始まります。皆様のご支援を得て、実りある活動となることを期待しています。(安達)

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第11号

2009年4月1日発行

三鷹の環境

～環境対策課長岩崎好高さんに聞く～

岩崎好高さんは化学系の技術者で、水の分析の専門家として、水道部で長くお仕事をされてこられました。その後環境対策課に異動され、現在は環境対策課長として活躍されています。小学生のころはクワガタやセミをとったり、自然と親しむ機会が多かったそうです。好きな花は夏の朝顔、太陽の向日葵、優しいコスモスだそうです。時間を頂いて、三鷹の環境についてお話を伺いました。

まず、三鷹の環境について、「三鷹には、ちょっとしたところに畑や公園があり、緑が目にはいり、ほっとします。野川や大沢の里にはまだ自然が残っています。今は、公害対策が進んでいて、市民の皆様のご関心も大気汚染、騒音、振動などのほか、上の階の騒音や、換気扇からの臭いなど、ご近所との環境問題にも広がっており、ご相談を受けることがあります」とのことでした。

環境マネジメントシステム・ISO14001は「市民センター、教育センターと環境センターで認証を取得し、ひとつは、電気、ガス、紙などの使用量の削減、もう一つは環境基本計画の推進の管理をしています。また、保育園、図書館などの外部施設では、平成20年10月から簡易版の環境マネジメントシステムを適用しています。更に



大沢の里・水車小屋付近の野川

これから未来を背負っていく小学生・中学生に対して学校版の導入をしたいと今力を入れています」とおっしゃる。

2期目を迎える「みたか環境活動推進会議」に対する期待としては、「協働して環境基本計画を推進する原動力になってほしい。1期目に実施した活動を継続するとともに、もう少し幅を持って、会議のメンバーだけではなく、外の個人や市民団体と一緒にプロジェクトを企画して、市と役割を分担しながら、活動をふくらませていくような形になるといいなと思っています」とのことでした。

最後にみなさんに伝えたいことは「環境問題は、長い目で地道な努力をしていかなければならない。いいことは、一つずつでも実行していくことです」とのことでした。(安達)

温暖化を考える

「大成 風のミュージアム」 見学記

市内の大成高等学校の「大成 風のミュージアム」が平成20年度の三鷹市環境活動表彰を受賞しました。

常駐の学芸説明員、安部頼之さんにこのミュージアムを案内して頂きました。

当ミュージアムは、地球環境問題に対する児童・生徒たちの意識を高める、日本の基礎科学技術教育に寄与する、大成高校および近隣の小中学校の教育に役立てるなどを目的に、平成16年2月に設立されました。

高校の新南館6階にあるミュージアム入口をはいると、「温暖化実験室」「地球温暖化ギャラリー」、風の誕生装置、空気の流れを観る「シュリーレン装置」、風をとらえる各種の装置・風車の模型などが陳列され、二酸化炭素による気温の上昇、また空気の流れや風の発生、風圧、風のエネルギーなどを身近な模型で実感できます。そのほか、三鷹市の風向など気象データの統計の展示や参考図書棚もあります。中央に大きなテーブルがあり、これを囲んでの説明会やペットボトルなどを利用した風車の工作授業も行われているそうです。

遠方まで見渡せる屋上には「ダリウス型」風車の風力発電装置が3基（大きな装置の定格1360W）設置され、そのそばには自記記録の風向・風速計、温度



屋上に設置された風力発電装置



いろいろな風車の模型

計もあります。

小学生、中学生、高校生、一般向けのパンフレットも備えてあり、地球温暖化と風を「科学」し、風と人とのかかわりを身近に考えることのできるミュージアムです。（ミュージアム連絡先：大成高校 0422-43-3196（代） （山口）

みたか環境懇話会の

参加者に感想を聞く

第2回みたか環境懇話会「テーマ：快適で省エネルギーな住まい」は2月18日に実施されました。講師は首都大学東京の須永修通教授でした。

感想

環境学を米大学で学び現在環境関連のライターをしており、環境関連への広い興味より今回の懇話会に参加しました。首都大学東京の須永教授から住空間をより快適にする効果的な方法を先進的な技術や事例に加え、個人でも簡単にできる身近な方法を紹介して頂きました。例えば夏場、すだれなどで室内への直射太陽光を窓の外側で防ぐことが非常に効果的であることや、断

横山哲也

熱に関して窓ガラスからの熱損失を防ぐ安価素材による断熱方法の説明などがあり参考になりました。また室内の温度分布においては人間が快適と感じる温度は頭部が21 - 22 で足部が25 - 26 であるという研究結果がとても興味深かったです。首都大と長池ネイチャーセンターの見学で大変有意義な時間が過ごせ、今後もこのようなイベントに参加していきたいと思います。

感想

2月18日、「快適で省エネルギーな住まい」というテーマの会に参加し、八王子にある「首都大学東京」と「長池ネイチャーセンター」へバスで向かった。

大学では、須永教授の分かり易い説明、かつ実際に住んでみたくなるような快適な実験棟の見学。新築の家では、外気を取り入れ、その熱を利用して床暖房をするという自然エネルギーの活用や、窓を3重構造にし、窓枠は木材を使うなど、でもちょっと高価になりそうですが、既

大場絹子

存住宅では、窓からの熱の出入りを抑える断熱材の取り付けなど、低コストで自分でもできそうなものまで、いろいろと教えていただき参考になりました。私の家も、この夏の暑さ対策に窓には「みどりのカーテン」か、簾を窓の外30cm位離して掛けるか、やってみたいと思います。

長池公園は緑に囲まれ、自然が豊かで、おすすめのコースです。